

# ★ まちづくり ★ ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

169号



2015年5月30日

常盤台の景観を守る会  
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

## ○ 図書館で説明会があります

6月8日(月) 18時30分～  
於 中央図書館地下1F 視聴覚室

平和公園への移設という区の家、跡地の利用法など、聞いておきたい問題が山盛りではありませんか？特に小さくても良いから図書館を今の地に残してほしいと思う人はぜひ出席を！

今回の説明会には、教育委員会事務局から寺西次長が、また政策経営部から岩田技術担当部長が、荒井中央図書館長と共に説明に当たるそうです。

## ○ JK 産業常盤台にも！

女子高生を接客業に使うことで問題になっている JK 産業なるものが、この常盤台北口にも出現したのをご存知ですか。

駅に向かうバス通りの左側、以前フィリピンパブのあったビルの地下です。黄色い声が道に漏れてきました。

未成年であるのを利用し、国際的にも響きを買っているこういう風俗店が、常盤台で堂々と営業するのをどう思いますか。

たとえ景観重点地区に指定されていても、決して質の高い住宅地とは、お世辞にもいえないのではないのでしょうか。

板橋区が、全体として様々なことに意識の低い地域であるかもしれませんが、せめて常盤台だけはなんとか良い環境を守りたいものです。風俗店が駅前に何軒もある街なんて、普通の住宅地でもあまりないではありませんか。経営者の自粛を望みます。

## ○ 鳩舎撤去の陳情提出される

2丁目のあるお宅で道沿いに2階建ての鳩舎が作られ、ハトの羽毛が散乱したり糞の公害があるとのことで、近所の人中心に署名運動が起こり、一般社団法人日本レース鳩協会と板橋区議会に陳情したそうです。区議会では受け付けられると健康福祉委員会で討議されるとか。

これまでに何回か話し合いが行われた結果なのでしょうが、個人の趣味に立ち入ることでもあるし、苦情を言われる方はさぞ不愉快なことでしょう。かといって近所に迷惑は及ぼさないう、気を使ってほしいし、今後話し合いは続けて、良い解決が見つかることを願います。

## ○ バザーその後

バザーの後、2、3件お尋ねがありました。引き出物などを出して協力したいが、どこに問い合わせたらよいか、と言うお問い合わせでした。来年の選挙日まで、ご自宅で保管しておいて、バザーの前日にお持ちくださいとお願いしています。

どなたも荷物整理に頭を悩ませているようです。ゴミに出す前に、というのではなく、利用者が得するように、品物がもう一度役に立ち、可愛がってもらえるように、と云うお気持ちで出品物をお願いします。

## ○ 土地の有効活用は慎重に！

不動産業者のチラシや訪問が激しくなってきました。ある家の郵便受けに「土地は売れません！」といかにも腹立たしい様子で貼り紙してあるので可笑しくなりました。賃貸住宅の建設も借金してまで無理してはならない、とは最近の住宅事情からも言えることです。

## 今年のカルガモ

平和公園のカルガモは一組の番いが、巢を作らないように？との区の配慮か、池の中にあつた屋根つきの島が無くなったあとも、人目を気にしながら泳ぎ回っていました。植え込みの中に今年も巢を作ったでしょうか。ヒナの姿はまだ見えません。

石神井川のカルガモも、秋・冬はたくさん群れていましたが、番いを作ってからはどうなっていることやら。

## 言葉の幾つか(2)

\* あきらめる

古語では「あきらむ」。語源はあきらかにすること、です。物事を考えて本質を見極め、理解する行為を指します。

ところが、この国では物事を見極めると、解決が見つからなくて、「諦める」ことばかり多かったのでしょうか。「あきらめる」は断念する、とか、諦念を意味するようになりました。悲しいことですね。問題はいつも先送り、根本を積極的に良い方向へ解決しようという姿勢が欠けていたし、今でも同じです。対症的に、その場しのぎに対処する文化ばかりが発達し、人間の尊厳にかかわる問題さえ、「あきらめ」た結果、「諦め」るしかなかったわけです。

## 水島氏著書紹介

### — 常盤台の景観計画なども —

ドイツバイエルン州で活躍する水島信氏の近著には、常盤台についての写真や記述が多く載っています。常盤台住民はもちろん、建築関係や都市計画関係の人には興味深い本に違いありません。

「(完) ドイツ流街づくり読本」

二〇一五年四月 鹿島出版会 二六〇〇円

### オカメ桜根付かず

北口公園に植えられたオカメ桜の苗木は、根付かず枯れた模様。春をすぎても芽ぶかないので不思議に思っていました。五月になってもだめでした。期待が大きかったので残念です。原因は何だったのでしょうか。専門の植木屋がした仕事なのでしょうけれど、こういう小さな所にも税金が使われているのだから責任は追及すべきです。

また、エンジュが切られ、クスノキが植えられました。折角大きくなったエンジュだったので、落ち葉刷るぐらいの理由で切られたのでしょうか。また、その代わりに、これまた大木になるクスノキが植えられるのは理屈に合わないような気がしませんか。

最近、地球温暖化が原因かもしれませんが、五月から暑くなり、夏は熱帯のような気候が人間を苦しめています。カラカラの都市に湿り気と涼しさを与えてくれる樹木の有り難さをもっと認識しなければ、ハナハ、でしょう。

## 常盤台公園のはなづくり

五月六月は次々と花が移り変わっていくよい季節です。ツツジ、シャガ、ジャーマンアイリス、シラン、アジユガ、オダマキ、シャクヤク、数えたことはありませんが、公園で咲いている花の種類はとも多いと思います。

また六月十二日か十三日には苗の植え替えがあります。去年は丁度人手の少ない日時に当り、臨時にお願いしたりしました。今年はなんとか乗り切れそうです。とはいえ、応援に来ていただければ助かります。

公園のスタジイの幹にあいた小さな穴にスズメが巣作りしました。せつせとエサを運び、どうやら巣立ったらしく、小雀を引き連れて、というより、小雀が勝手に飛んでいくのを親が追いかけて、口移しでエサをやる様子が、なんとも可愛らしいのです。一年に何度か子育てすると言います。

シジュウカラやメジロも繁殖していると思います。常盤台でどんな巣をどこに作っているのか、ご存知でしたら教えてください。